



一学期 大変お世話になりました

このたびの豪雨災害で、亡くなれた方々のご冥福をお祈りするとともに被災されました皆様へお見舞い申し上げます。海田小学校は、20日に終業式を行いました。私たち教職員は、これまでとは全く違う気持ちで終業式を迎えました。豪雨災害の後、海田小学校の子どもたちが学校へ来て、元気に生活を送ることができたことに心から安堵しています。そのためご支援、ご協力いただいた保護者、地域の皆様ありがとうございました。

一学期の振り返りより

海田小学校では、毎学期の終わりに「よいところ見つけ」をしています。一学期は、自分のよいところ（成長したところ）を自分で見つけました。

ぼくのよいところ

ぼくは、ともだちがいっぱいいます。
ひとをえがおにさせるのがうまいです。
(1年生)

ぼくが5年生になって成長したところは、家族や先生だけでなく、地いきの人に進んであいさつができるようになったことです。4年生のときは、ほとんど地いきの人からあいさつをされて、ぼくはそれをかえす立場だったけど、今はぼくが先にあいさつをするようになりました。これからも続けたいです。

(5年生)

自分は成長したと思う。リーダーになり、他学年をまとめられるようになった。前はまとめるのが苦手だったけど、リーダーになり、責任感が強くなり、自分もちゃんとしないといけないと思う気持ちが強くなった。
(6年生)



地域の方からの声

- 朝、エレベーターの中で出会ったら、自分から挨拶をしてくれました。これから、朝のあいさつ運動に参加するのだと教えてくれました。〈7月2日〉
- 班長を先頭に、一列できれいに並んで登校しているのはすばらしいと思います。ただ、班長の立つ場所によっては、班旗を道路側に出すと車と接触する可能性もあるので気をつけた方がいいと思います。(→早速、班長に指導しました。ご助言ありがとうございました。)〈7月3日〉

さまざまな場所で、子どもたちの様子を気にかけてくださっている地域の皆様ありがとうございます。夏休み中もよろしくお願ひいたします。